すなお

令和７年４月号

発行所　天理教瀬戸路分教会
〒794-0007　今治市近見町4-5-10
URL https://www.tenrikyo-setoji.net/
☎　0898-23-5004　　責任者　二 宮 英 治
発 行 日　2025.4.16　　通　巻　№777

会　　長

【おぢば　修養科横のさくら】

先月、大教会月次祭の祭典後、今後３年間の大教会役職発表があり、少年会中和団の委員として15年つとめ副団長として6年つとめさせていただいてきた私が、このたび中和団団長の御命をいただきました。

形の上での「団長」というものを目指してきた訳ではありませんが、ただただ少年会の活動を通して子供達に信仰の喜びを伝えていきたいと願い、さまざまな御用の上に精一杯つとめてきたことを受け止めていただけたのかと思うと、とてもありがたく嬉しいことです。立場があっても無くても、心の動きに何ら変化はありませんが、なお一層子供達へ信仰を伝えていく努力を重ねていきたいと思います。

そして、今回のこの立場は中和団の設立当時から、少年会活動に熱い思いをもってつとめて、その基礎を作られた親会長さんもさぞ喜んで下さっているのではないかと思います。以前から団の中で事務的な用事をさせていただいてきましたが、少年会には教会の設立の順番とは全く関係の無い各教会の隊番号と呼ばれるものがあることを知り、瀬戸路隊の設立番号を見て驚きました。

０1番中和隊、０2番瀬戸路隊、、、です。その当時から親会長さんが少年会活動の先頭を走っていたことが分かる番号です。まだ本部にも少年会という組織さえ出来ていないころから、大教会の青年という立場で周辺の教会へたびたび子供会をしに行かれていました。それでも当時はそういう組織が無かった時代でしたのでよく周囲から「二宮はいつも子供と遊んでいる」と言われ、その真意を理解してもらえることは少なかったとのことです。しかし、教祖が「小さい頃から教えを伝えておくれ」と仰られていたお言葉をすなおに実行されたのだと思います。

少年会に熱心な教会は伸びていますし、教会の中も明るいですね。子供の力は絶大です。瀬戸路でも赤ちゃんがどんどん生まれ子供達が増えてきた中で、少年会活動を再開しようとしてくれています。何からでも思いをもってすることが、子供（少年会員）の成長であり世話をする大人（育成会員）の成人にも必ずなります。今後もなお一層少年会活動を活発に進めていきたいと思います。

日々感謝して

田中　道則

先月23日に今治で山火事が発生し、飛び火でどんどん広がり大きな災害になりました。消防隊、消防団、自衛隊の休みなしの消化活動で最小限の被害に抑えてもらいました。山の上の送電線が焼けたら今治全域が停電になると言われてましたが、それも回避する事が出来ました。

本当にライフラインが寸断され避難生活になってしまうことを考えたら、日々何気なく生活できる有難さをひしひしと感じずにはいられませんでした。お湯が出る、料理が作れる、仕事に行ける、いつもの当たり前はすごいことなんだと気付きました。予期せぬ災害に備えると共に、日々の当たり前に心から感謝して神様に守って頂ける理を作っていきたいです。

《教会ニュース》

中和大教会おぢばがえり別席団参

来月25日にはおぢばがえり団参の打ち出しがありました。どうぞ、この機会におぢばへ帰らせていただきましょう。また、誰かを誘って帰らせていただきましょう。会長もおぢばで皆さんの帰りをお待ちしています。思いついたら出来るだけ早くにお知らせ下さい。

初席

松浦美希さんが先月26日に初席を運ばれました。ようぼくに向かって前進です。

中和団おつとめまなび総会開催

先月、大教会で行われた中和団おつとめまなび総会に松浦雄人さん、山﨑幹菜さん、山﨑美菜子さん、山﨑幸太郎さん、池田凛さん、中川瑠菜さん、中川紗希さんの7名が参加し、育成会員も5名参加してくれました。そして、山﨑美菜子さんが新隊長になりました。よろしくお願いします。

編集後記

我が家では、大学に進学した息子の引越しや大学の入学式で、3月末頃から4月初めまでバタバタであっという間に過ぎました。新しい生活を迎え、慣れない中楽しんで進んでいるようです。親としては、心配もありますが、まずは良いスタートができたと喜んでいます。これからも息子の成長をそばで支えていきたいと思う今日この頃です。。（編集者K）